Copyright © 2014 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 改訂情報
- はじめに
- システム要件
- 制限事項
- 保証規程
- 著作権および特記事項

改訂情報

変更年月日	変更内容
2015-07-01	初版
2015-08-01	第2版 下記を追加・変更しました ▪ システム要件を変更しました。

はじめに

本書の目的

本書では IM-PDFDesigner for Accel Platform のリリース内容について記載されています。

製品名

名称	バージョン
IM-PDFDesigner for Accel Platform	8.0.2

用語解説

intra-mart Accel Platform	iAP と略します。
IM-PDFDesigner for Accel Platform	PDFデザイナー と略します。

製品の概要

PDFデザイナー は、iAP 上でPDF形式の帳票を作成するための追加アプリケーションです。

PDFファイルは、IOWebDOC デザイナーツールで作成した レイアウト定義ファイル と ユーザ入力データ または、CSVファイルなど を用いて作成します。

また API を使用してプログラムを作成することにより、その時必要な内容で PDFファイルを作成できますので、Webで最新の情報一覧をダウンロードしたり、一定期間の履歴情報をバッチプログラムで収集した結果を PDF ファイル で保管したりなど、様々な場面で幅広くご利用いただくことができます。

> コラム
>
> **IOWebDOC (アイオーウェブドック) とは...**
>
> Webブラウザ上でPDFファイルを作成するための ランタイム（実行モジュール）です。
>
> 詳細は、下記を参照して下さい。
>
> http://www.iothe.co.jp/pdfyss/product/iowebdoc.html

バージョンアップ内容

intra-mart Accel Platform に対応しました。

iAP では、PDFデザイナー Ver 7.x 以前のバージョンは、動作しませんのでご注意ください。

Storage Service の 廃止により、アプリケーションサーバで動作する仕様に変更になりました。

iAP のサーバ構成の変更により、Storage Service が廃止になりました。
レイアウト定義ファイルは、「Public Storage」に配置します。
作成される PDFファイル は、「Public Storage」に出力されます。

> **コラム**
> アプリケーションサーバを分散構成とする場合は、各アプリケーションサーバに IOWebDOC をインストールする 必要があります。

また、Storage Service が廃止になったため、PDFデザイナーで提供しているAPIの一部も廃止になりました。

- クラス IOCelaPageBUilder, IODocPageBuilder, PDFBuilder と関係するクラス
- パッケージ jp.co.intra_mart.product.pdfmaker.sample

> **コラム**
> 上記以外のパッケージ名、クラス名、メソッド名は基本的に Ver7.x から大きく変更はありません。

JDK8.x に対応しました。

JDK6.x 以前のバージョンは動作しませんのでご注意ください。

システム要件

API 等のモジュールの動作環境は、iAP の仕様に準拠します。
また、IOWebDOC (レイアウトデザインツールなど) に関しては、IOWebDOC の仕様に準拠します。
当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

サーバ要件

- intra-mart Accel Platform 2012 Winter（Standard Edition、Advanced Edition、Enterprise Edition）
- intra-mart Accel Platform 2013 Spring、2013 Summer、2013 Autumn、2013 Winter（Standard Edition、Advanced Edition、Enterprise Edition）
- intra-mart Accel Platform 2014 Spring、2014 Summer、2014 Winter（Standard Edition、Advanced Edition、Enterprise Edition）
- intra-mart Accel Platform 2015 Spring、2015 Summer（Standard Edition、Advanced Edition、Enterprise Edition）
- 利用する intra-mart Accel Platform のサーバ要件に準拠します。

その他のサーバ要件は次の通りです。

種別	製品名
オペレーティングシステム	▪ Windows Server 2008 R2 / 2012 / 2012 R2 日本語 (64 bit) ▪ Red Hat Enterprise Linux 6 日本語 (64 bit)
必要メモリ容量	▪ 4GB以上
必要ディスク容量	▪ 約 20 MB + IOWebDOC ランタイム分

コラム
IBM AIX については、個別に営業までお問い合わせください。

コラム
メモリ容量は、PDFデザイナー をインストールして iAP を動作させた場合に PDFデザイナー が最低限必要とするメモリ量の目安です。
実際には、上記メモリの他に iAP が動作するためのメモリ量および PDFファイル作成時に IOWebDOC が利用するメモリ量が必要となります。
必要メモリ容量に関しては、PDFデザイナー の利用の度合いにより変化します。

コラム
必要メモリに関しては、扱うデータや作成するPDFファイルなど 各種ファイルの大きさや実行の

頻度 (特に処理の重なり具合) に依存します。
また、PDFファイル作成時には、他のプロセスも起動するので Java-VM以外でもメモリを必要とします。

コラム

必要ディスク容量に関しては、扱うデータや作成するPDFファイルなど 各種ファイルの大きさに依存します。
また、PDFファイル作成時には一時ファイルを作成していますので、作業領域としてのディスク容量を必要とします。

注意

データベース等のシステム要件に関して、intra-mart Accel Platform では対応していても、アプリケーションでは対応していない場合があります。
必ず、本ドキュメントに記載されているシステム要件をご確認ください。

クライアント要件

iAP のクライアント要件に準拠します。

当バージョンにおけるクライアント要件は次の通りです。

- Adobe Reader 9.0 以降 (作成したPDFファイルを閲覧するため)

また、IOWebDOC のレイアウトデザインツールの要件は次の通りです。

種別	製品名
オペレーティングシステム	▪ Windows 7 (32bit) ▪ Windows 8 / 8.1 (32bit)

ライセンス要件

- PDFデザイナー 1ライセンスには、
  ・1ツールライセンス
  ・1ランタイムライセンス
  が付属します。
- ツールライセンスとランタイムライセンスの違いは、以下となります。
  (1) ツールライセンス
  → 帳票レイアウト作成用のレイアウトツールのライセンスです。クライアントPCで 帳票レイアウトを作成する際に利用します。
  (2) ランタイムライセンス
  → 実際に iAP 上で動くサーバ側のモジュールのライセンスです。

となります。

- ツールライセンスは、帳票レイアウトの設計用途で、ランタイムをインストールしたマシンとは別のマシン上でご利用いただけます。
  ツールライセンスはランタイムライセンスとして、またはランタイムライセンスはツールライセンスとしては利用できませんのでご注意ください。
- 開発などでサーバマシンと開発マシンを分けたい場合は、
  サーバマシン上に別途ランタイムライセンスが必要となります。
- PDFデザイナー を分散環境で稼動させる場合、
  ランタイムライセンス (PDFデザイナー および IOWebDOC) が追加で必要となります。

制限事項

OS	IOWebDOC バージョン
Windows Server 2008 R2 / 2012 / 2012 R2	1.9.2.6
Red Hat Enterprise Linux 6	1.9.2.6

また、レイアウトデザインツールは、下記バージョンとなっています。

OS	IOWebDOC バージョン
Windows 7 / 8	1.9.2.6

注意

必ず同梱されている IOWebDOC をインストールして下さい。
上記以外の IOWebDOC では、動作しませんのでご注意下さい。

Ver 7.x までのライセンスキーは、Ver 8.0.2 では使用できません。

Ver 7.x 以下のバージョンから Ver 8.0.2 以降へのバージョンアップには、バージョンアップ費がかかります。
詳細は、販売店または営業までお問い合わせください。

OSがサポートする文字コードと異なる文字コード体系のデータを扱う場合、動作しない・文字化け現象が発生する場合があります。

旧バージョンから移行する場合、本製品のインストール前に必ず旧バージョンをアンインストールしてください。

旧バージョンをアンインストールせずに本製品をインストールした場合、誤動作の原因となる場合があります。

PDFの文書情報に2バイト文字はご利用頂けません。

レイアウトの識別子名は半角29文字以内としてください。

通常のJavaアプリケーションと同様にファイル出力が競合しないよう、上位アプリケーション側で制御する必要があります。

- システムで重複しない出力ファイル名を使用する。
- ダブルクリックを防止する。

仕組みを上位アプリケーション側で実装する必要がありますのでご注意ください (未実装の場合、システムが不安定になる可能性があります)。
出力ファイル名については、上位アプリケーション側でシステムで重複しないIDを生成しファイル名にご利用願います。
ダブルクリック防止機能については、スクリプト開発モデルであれば isDoubleClicck() がご利用頂けます。
JavaEE開発モデルであれば DblClickForbidenタグがご利用頂けます。
ともにイントラマートに標準のAPIとなっております。詳細については、イントラマートAPIマニュアルをご参照ください

> コラム
>
> JIS2004への対応状況については弊社営業までお問い合わせください。

利用可能フォント

固定幅フォントのみ利用可能です。可変幅フォント（プロポーショナルフォント）はご利用いただけません。

UNIX/Linux環境での連票(IOCELA)レイアウトの改行コードを LF に変更する必要があります。

連票レイアウトファイル(IOCELA)の改行コードは、標準で CRLF にて出力されます。
UNIX/Linux環境でご利用いただく場合には改行コードを LF に変換する必要があります。

サーバにアップロードする場合には、

1. ASCIIモードでサーバにFTP転送し、自動的に改行コードを変換する。

もしくは、

2. テキストエディタ等を利用して改行コードを LF に変換して保存し、バイナリモードでFTP転送する。

いずれかの手法が必要になります。

タブレット/携帯端末においてPDFファイルを閲覧する際の注意点

モバイル端末（iOS やAndroid 等の非WindowsOS）にてPDFファイルを閲覧する場合、PDFファイルにフォントが埋め込まれていないと、PDFファイルの見た目が崩れる可能性があります。

原因

製品のデフォルトの設定においては、PDFファイル内部では、フォント名・フォントサイズなどのデータが格納されており、フォントファイル自体は存在しておりません。

通常PDF ファイルを表示する場合、フォント名・フォントサイズなどのデータを閲覧する機器内のフォントファイルを利用し表示されています。
AdobeReader の場合は該当フォントが端末上に存在しない場合はそのフォントに近い代替フォントを表示させる機能(すべてのフォントの代替はしない)があります。
PC やモバイル端末においては同じフォントが存在しない場合があります (特に利用頻度が高い Microsoft系のフォントは、通常は Windows にしか入っておりません)。
PDF ファイルを表示した場合、フォントの幅等が違うものが参照され、対象ドキュメントの表示が崩れた状態となります。

対応策

フォント埋め込み済みのPDFファイルの場合、参照フォント情報はPDFファイル内のものから対応し、正確な表示となります。
モバイル端末でPDF ファイルを表示させる場合は、必ずフォントの埋め込み処理を行い、表示の崩れを防いでください。
フォント埋め込みの設定方法については、各製品のマニュアルを参照ください（一部の製品はフォント埋め込みに対応していません。詳細は営業までお問合せください。）。

注意点

PDF にフォントを埋め込む場合、参照フォント領域がPDF に追加される為、出力されるPDF ファイルのサイズが大きくなります。
これはPDF ファイルの仕様となります。
どれくらいファイルサイズが大きくなるのかに関しては、実際のファイルにて事前にご確認ください。

保証規程

保証内容及び対象

この保証規程（以下、「本書」という。）並びに貴社が当社と締結した一切の契約が定める要件
（システム要件を含むがそれに限らない。）
及び制限事項の範囲内にて貴社が本製品を利用することを条件として、当社は貴社に対し、
本製品に同封され、又は当社ホームページ（ http://www.intra-mart.jp/document/library/?product=pdfd ）に
掲載されているマニュアルの最新版のとおり本製品が動作することを保証します。

なお、当該保証は、貴社における内部的使用を目的とする限りにおいて適用されるものです。
また、当該保証は、当社の一方的な裁量により、無償で交換若しくは修補、又はかかる本製品の対価として
イントラマートが貴社から受領した金額の返金のいずれかの方法によるものとします。

上記の対応は、正規の当社製品を購入され、適法かつ誤りなくユーザー登録を完了されたお客様のみに
当社が行うもので、当社はその他の対応又は保証、特に本製品をインストールしたハードウェア、
接続製品、及びそれらに保存されたソフトウェア、データ等の保証（但し、これらに限られない。）は一切行いません。

保証の適用除外

下記の場合は動作保証が適用されません。

- 貴社が、本書又は貴社が当社と締結した一切の契約に定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）
  その他の制限事項の定める範囲内にて本製品を利用しなかった場合
- 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害等の外部的事情による誤動作の場合
- 合理的な使用方法に反するご利用に起因する場合
- 貴社あるいは第三者が改変・変更等及びそれらの作業を行ったことに起因する場合
- 本製品以外のソフトウェア、ハードウェア等との互換性の問題から生じる場合

免責

本製品に関する当社の損害賠償責任は、理由のいかんを問わず、
本製品の「ソフトウェア使用許諾契約書」に定める責任の限定の範囲内といたします。

その他の契約との関係

本製品の保証に関して、貴社が当社と締結した一切の契約と本書の間に齟齬がある場合には、
本書の記載が優先するものとします。

著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

Oracle と Javaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上